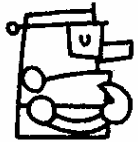


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /  
人と動物の体 / 理解シート

## おたまじゃくしには、えらがあるの



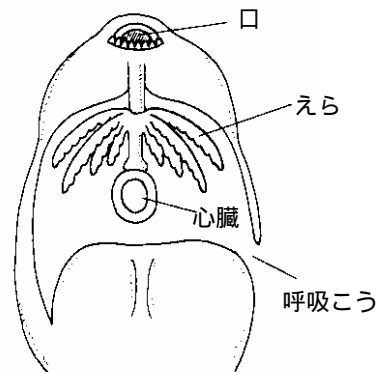
おたまじゃくしはカエルの子だけど、水の中でくらし  
ているから、えらこきゅうをもち、えらで呼吸しているのさ。

生き物はみんな、呼吸をしています。おたまじゃくしは、カエルの子どもだけれど、水の中でくらししているのだから、魚と同じように、えらで呼吸をしています。どんな種類のカエルも、おたまじゃくしのときは、えらをもっています。

えらは、水にとけた酸素を、体内の血液にとり入れるはたらきをします。カエルの卵たまごがかえり、おたまじゃくしになると、体内にえらができます。おたまじゃくしが成長して、4本の足が出そろそろころには、しっぽは体内にすいこまれていき、目がもり上がり、口が大きくなり、鼻のあなもあいて、鼻や口で息をするようになります。

そして、体内のえらはなくなって肺はいができ、肺で呼吸する、カエルになります。

こうなると、早く陸に上がらないと、おぼれ死ぬこともあります。



<おたまじゃくしの体(腹側)>

### 肺は空気中の呼吸、えらは水中の呼吸で、同じはたらきをする

陸にすむ背骨せぼねのある動物は、みんな、呼吸するための肺をもっています。人間もカエルも、息を吸ったりはいたりして、空気中の酸素を吸い、二酸化炭素をはき出しています。肺で、吸いこんだ空気から血液に酸素がとりこまれ、体内でいらなくなった二酸化炭素が血液から出てきます。えらは、空気中ではなく、水にとけた酸素をとりこむこと以外は、肺と同じはたらきをしています。

もっと知りたい人へ：「えらのしくみは、どうなっているの」も見てみよう。